

民間検査機関の検体に基づくゲノムサーベイランスによる系統別検出状況（国立感染症研究所）

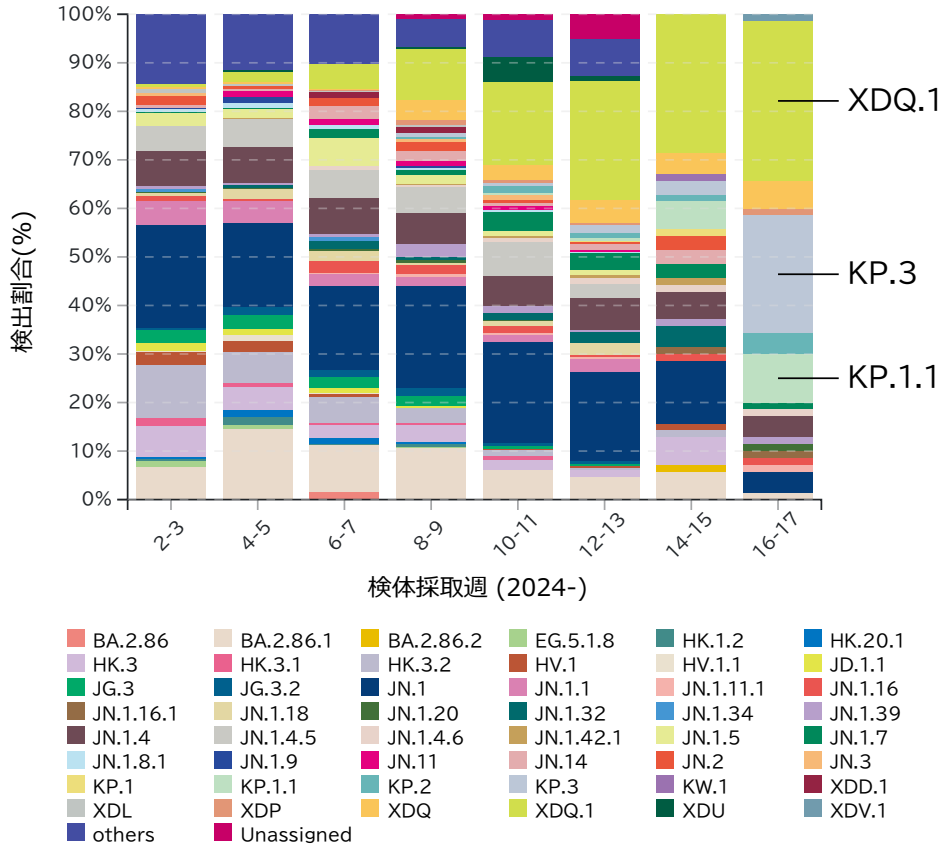
第2回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会
季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナウイルスワクチンの製造について検討する小委員会

資料
2-2

2024（令和6）年5月29日

第2-17週（2024年）

第14-17週（2024年）



(注) XDQ系統はBA.2.86系統とFL.15.1.1系統の組換えにより生じた系統であり、JN.1系統の祖先であるBA.2.86系統と比較して、ワクチンが中和抗体反応の主なターゲットとするスパイクタンパク上のRBD（受容体結合領域）等の構造がBA.2.86系統と類似していることが知られている。

Pango lineage (Nextclade 3.5.0)	検体数 (第14週-17週)	割合
BA.2系統	82	58.57%
KP.3	19	13.57%
JN.1	12	8.57%
KP.1.1	11	7.86%
JN.1.4	7	5.00%
BA.2.86.1	5	3.57%
KP.2	4	2.86%
JN.1.7	3	2.14%
JN.1.32	3	2.14%
JN.1.4.6	2	1.43%
JN.1.16.1	2	1.43%
JN.1.39	2	1.43%
JN.1.16	2	1.43%
JN.2	2	1.43%
JN.14	2	1.43%
Others	6	4.29%
XBB系統	6	4.29%
HK.3	4	2.86%
Others	2	1.43%
その他	52	37.14%
XDQ.1	43	30.71%
XDQ	7	5.00%
Others	2	1.43%
総計	140	100.00%

● KP.3系統を含む、JN.1系統とその亜系統およびXDQ.1系統が国内で主流となっている

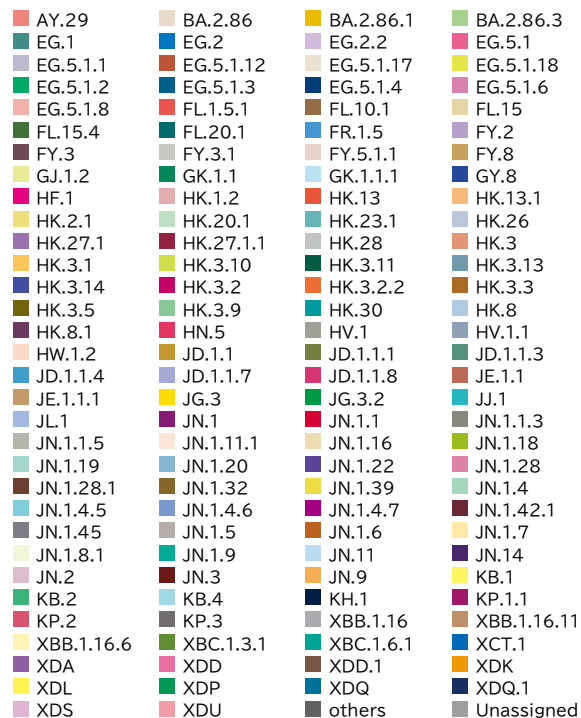
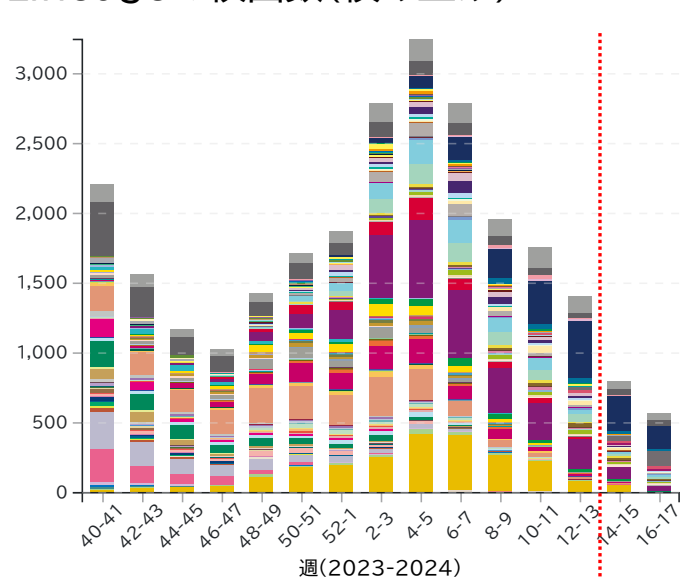
● 直近4週間の系統別検出数は、JN.1系統とその亜系統がおよそ50%超、ついでXDQ.1系統が30%程度検出されている。直近2週間では、JN.1亜系統であるKP.3系統の割合が増加している。

※lineageの定義については、cov-lineages.orgのサイト (https://cov-lineages.org/lineage_list.html) を参照。
 ※検出割合が1%未満のlineage("Others")についてはlineage名省略。
 ※検出割合が高いlineage（上位3位）は、表中で赤字で示す。
 ※今後、解析データの追加登録が行われ、数値の変動があることに留意。

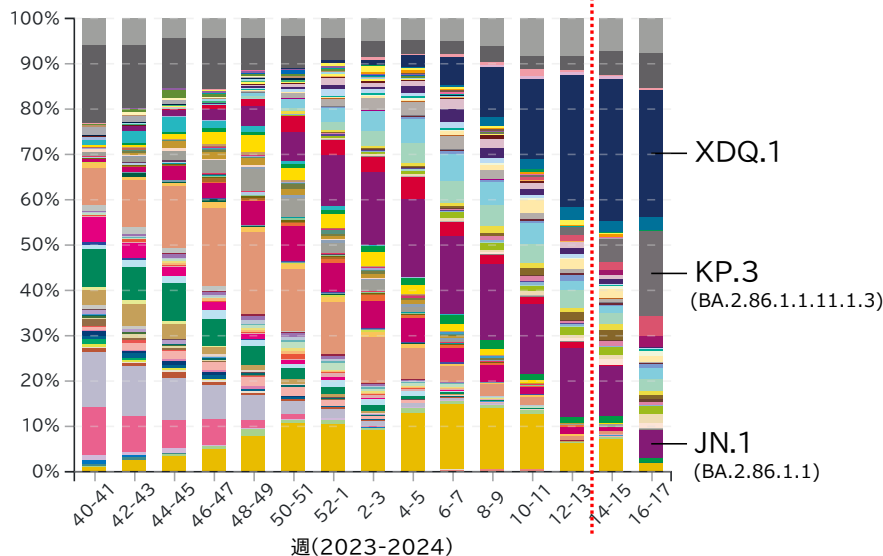
全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況 (国立感染症研究所)

新型コロナウイルスゲノムのPANGO Lineage変遷 (2週単位) (2024年5月22日現在)

Lineageの検出数(積み上げ)



Lineageの割合



● JN.1系統とその亜系統が依然国内で最も多いものの、XDQ系統とその亜系統の割合が増加傾向にある

※Nextclade ver.3.5.0により解析
 ※地方衛生研究所で解析されたゲノム解析結果を含む
 ※グラフの表示上限数により表示期間中の検出数で上位125番目までのlineage名を記載し、それ以下のlineageは{others}として記載
 ※今後、解析データの追加登録が行われ、数値の変動があることに留意
 (* 2024-14週より解析実施目標数の変更があった)